

1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	管理者・ケアマネ・介護職・看護職
-------------------	------	------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	12 人	1 人	1 人	14 人

前回の改善計画	送迎や訪問時のご家族コミュニケーションは継続し新規のご利用者とも信頼関係を構築していくことを継続。 Slack の活用を推し進め随時情報共有を図ると共に、昼の申送りでパソコンを活用し記録を細かくとる。
前回の改善計画に対する取組み結果	送迎業務に携わらない職員も機会があればご家族様とのコミュニケーションに励むことが出来ている。特に利用初期の方とは積極的にお声掛けをして安心して過ごせるようよう支援している。 Slack の活用法を定め情報共有の強化を行うことができ、申し送り内容の漏れを減らすことが出来た。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？		12	2		14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		13	1		14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	1	11	2		14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1	8	5		14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者様やご家族様に寄り添って支援を行うことが出来ている。 ・slack の活用によって情報共有が容易になった。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・Slack の活用は進んでいるが、時々情報漏れや他の業務が忙しく書き込めない時がある。 ・PC やタブレットから見ることはできるが操作が苦手な為うまく活用できない職員がいる。 ・送迎業務に携わらないとどうしてもご家族様とのコミュニケーションの機会が乏しい。連絡帳で様子を詳しく記載することは行っている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
業務の忙しさを理由にせず利用者様と関わる時間を増やすことで不安の解消や良好な関係作りを構築することを目指す。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 12月 13日 (13:00 ~ 14:00)
2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	管理者・ケアマネ・主任・介護職・看護職

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	7	5	1	14

前回の改善計画	ケアプランの作成にあたって、昼のミーティングの際に本人の目標について説明を行う。 職種に関係なく支援内容について見直す必要がないか話し合いと、そのための業務改善等を進める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ケアプランの作成や変更にあたっては書類の閲覧やケアマネによる説明を行うことで一定の周知を図ることが出来た。ミーティングを通じて支援内容や方法に関して都度修正を行うことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか？		8	5	1	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		8	5	1	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	6	6	1	14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	7	3	3	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・支援の中で気が付いた点などに関してミーティングで共有し支援方法や手順を変更出来ている。 ・自分の勤務日でない時の記録も確認し対応方法等工夫している。 ・ケアマネの記録を確認し本人の目標等を振り返り確認している。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・本人の目標が明確でなかったり上手く本音を引き出せていないと感じている。本人ではなく家族のゴールになってしまっている印象を受ける時がある。 ・日々の変化で追いつけていないと感じる時がある。夜勤専従の職員だと猶更関わる時間がなく難しい。 ・「～したい」を目指した関りが出来ているかは自信が無い。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・昼のミーティング以外で会議の場を月に 1 度必ず設けることで本人の目標や適切な支援方法となっているかを詳しく確認すると共により良い方法について議論を交わしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 12月 13日 (13:00 ~ 14:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	管理者・ケアマネ・主任・介護職・看護職

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	10	3		14

前回の改善計画	本人の状態にあわせて多職種間で支援方法の検討を行いフロアに早期周知を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ slack やエクセルにより本人の状態やそれに合わせた支援方法の周知を図ることが出来た。介護職・看護職・ケアマネで支援方法について話し合いを行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		3	8	3	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	2	10	2		14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	5	8		14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3	10	1		14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	11	2		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 本人の状況に合わせた食事や入浴等の基礎的な介護は出来ていると思う。 - 変化を見つけた際は記録に落とす他にミーティング等で共有を図れている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- 本人の声にならない声を言語化することは出来ていないように感じている。 - 業務に追われてしっかりと一対一で利用者様と話すことが出来ていない。 - 以前の暮らし方を把握することがあまりできていない、今の生活の課題等に集中してしまっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用開始前や都度支援にあたる際に以前の暮らしを知るように努め、可能な限りこれまでの生活を継続できるように支援方法を工夫する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 12月 13日 (13:00 ~ 14:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	管理者・ケアマネ・主任・介護職・看護職

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		6	2	6	14

前回の改善計画	事業所で抱え込みとならないように、地域資源として何が活用できるのか近隣の情報を纏めると共にケアプランに組み込むことでそれぞれに独自性のあるケアプランをもって支援にあたる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域交流イベントを開催したが頻度が少なく、地域行事の参加もあまりできなかった。近隣の方に支援を協力していただくことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		8	5	1	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		8	3	3	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		7	6	1	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		2	6	6	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ケアマネが聞き取った情報を共有することで把握できている部分がある。 ・ご本人が支援が必要であることを周辺の方に理解していただいたうえで協力してもらえたことがあった。 ・訪問記録を読み自宅でのどのように過ごされているのか確認している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域資源として何があるのか把握が不十分。民生委員が誰であるか知らない。利用者によっては地域との関りが遮断されているように感じる。 ・事業所が関わっていない時間の過ごし方が分かっていないことが多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者様の周辺の人間関係や環境を知り支援方法に取り入れる他、独居の方には過去や事業所が関わらない時間での生活を知り合いの方を通じて把握を試みる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 12月 13日 (13:00 ~ 14:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	管理者・ケアマネ・主任・介護職・看護職

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？		9	4	1	14

前回の改善計画	小規模ならではの柔軟な支援はできているが、担当者会議録の閲覧や、日々の記録入力を強化できる体制を整えていく。 より柔軟な支援のため介護職の増員と職員への研修を実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	記録に関してはケアカルテをベースに slack やエクセルを組み合わせることで記録漏れを抑えることが出来た。職員の増加と研修案内発信により前年度よりも参加機会を設けることが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1	6	6	1	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	3	10		1	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	2	10	1	1	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	1	11	1	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ニーズに応じたサービス提供はおおむね出来ているのではないかな。急な変更にも対応出来ている。 ・日々の状態に合わせた支援が出来ている、試みている。 ・必要に応じてゴミの個別回収利用に繋げることで生活環境の清潔さを維持に役立った。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・研修についてはその日の人員や利用者の状況により参加する人が限られてしまったり資料閲覧のみになってしまっている。 ・地域資源の活用は出来ていない。 ・職員は増えたが時間帯によって人数にばらつきがあったり、職員の意欲に差が見られる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
小さな変化や気になった点を記録に落とし昼のミーティングで共有し、その場でおおよその方針を決めるなど早期の対応を図る事。 緊急時には事業所の対応を即時に変更することで生活の安定を支える。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 12月 13日 (13:00 ~ 14:00)
6. 連携・協働	メンバー	管理者・ケアマネ・主任・介護職・看護職

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	3人	4人	1人	8人

前回の改善計画	引き続き多職種連携により支援を続けていく。 オレンジカフェの開催数を増やしたり地域行事に参加することで開かれた事業所と認識してもらえるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	事業所内外を問わず多職種で支援に携わることはできた。 優つくりカフェを開催することはできたが機会が少なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		1	4	9	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？			3	11	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？			6	8	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？			4	10	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・医療機関等に対してバイタル記録や普段の様子等を共有し支援に繋げている。 ・ボランティアの受入や年末には地域行事に参加することが出来た。カフェの開催も行っている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・外部とのやり取りは管理者やケアマネ、主任にほぼ限られている。 ・登録者以外の高齢者等が事業所に訪れておらず、開かれた施設とは言えない。高齢者施設に限らず周辺の施設等との関係がないように見えてしまう。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域との交流を目的としたイベントの開催だけでなく、町内会を始めとする地域行事に参加することで優つくり村の認知度の向上と気軽に相談のできる施設を目指す。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 12月 13日 (13:00 ~ 14:00)
7. 運営	メンバー	管理者・ケアマネ・主任・介護職・看護職

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？		4	6	3	13

前回の改善計画	運営推進会議に限らず事業所運営に関わる情報があつた場合に誰でも閲覧できる媒体に記録を残す。 フロアミーティングを設け利用者支援だけでなく事業所運営の質問等を受け付ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	フロアミーティングを設けたが利用者様の支援に関することで終わることが多く、事業所の運営に関してまで話し合うことが出来なかった。 議事録は早期に作成をしていたが周知まで十分に行うことが出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1	4	4	4	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		10	2	1	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		4	4	5	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？		1	10	2	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・思ったことは意見として発言している職員はいる。 ・意見があれば柔軟に対応していると思っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・運営に関しては立場の関係で関わらない、関わろうとしない職員も見られる。 ・地域との繋がりが薄く協働した取り組みというものは出来ていない。 ・もっと聞き取りや面談の機会を設けてほしい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
職種や役職に関わらず施設環境等に関して自由に意見を出せる空気を作り多様な視点によって事業所の質の改善を図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 12月 13日 (13:00 ~ 14:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	管理者・ケアマネ・主任・介護職・看護職

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		7	7		14

前回の改善計画	人員配置を見直し研修への参加機会を増やせるようにする。 法人内外に関わらず、介護に関する事故やトラブル事例について所内に発信しリスクマネジメントを強化する。
前回の改善計画に対する取組み結果	法人内外を問わず研修資料の共有や e-ラーニングの登録を行うことで研修機会を設けることが出来ている。ニュースサイトから介護に関連する事故・事件を引っ張りフロアに周知を行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2	6	3	3	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	6	2	5	14
③	地域連絡会に参加していますか			3	11	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	7	4	2	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・法人内の研修は参加しておりリスクマネジメントにも取り組んでいる。 ・法人外の研修案内もあり都合がつけば参加している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・業務だけでなく私生活のこともありあまりスキルアップに取り組めていない。 ・職種によっては受けた研修が用意されていなかったり内容に十分満足できていない。 ・地域連絡会は管理者やケアマネのみが対応している。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
法人内外の研修参加頻度を上げることで職員のスキルアップを図ると共に、新規資格取得を推進する。事故予測に関する研修を開き事業所環境や利用者様に生ずるリスク軽減を試みる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 12月 13日 (13:00 ~ 14:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	管理者・ケアマネ・主任・介護職・看護職

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	11	1		14

前回の改善計画	引き続き虐待の芽チェックリストの活用と身体拘束や虐待に関する研修や研修資料の閲覧を全職員が行えるよう取り組む。 プライバシー保護の観点から事業所の環境整備を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	虐待防止に関するチェックリストや資料だけでなく、普段の業務で気になった点は修正を行った。プライバシー・個人情報の観点から環境を変えている最中である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	6			14
②	虐待は行われていない	11	3			14
③	プライバシーが守られている	5	9			14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	8	1		13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	9			13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・基本的にモラルをもって職務にあたっている。身体拘束や虐待は行っていない。 ・個人情報の管理について名前を隠したり鍵付きのキャビネットに保管できている。 ・働き出して1年ほど経つが環境の整備は行われていた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・個人情報保護の環境整備は進められたが、まだ完璧に出来ているとは言えない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
プライバシー保護や個人情報保護のために適切な物品を導入し環境整備の完了を目指す。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 奉優会	代表者	香取 寛	法人・ 事業所 の特徴	私たちはゆっくり、一緒に、楽しくをテーマに「認知症になっても要介護状態になっても住み慣れた地域・我が家で暮らし続けたい」という想いを支えてまいります。家庭的な環境の中で、出来ることは自分でおこない、出来ないことを支援していくことで認知症の症状を緩和し、各々の自立した在宅生活の実現を目指してまいります。
事業所名	優っとり小規模 多機能介護石神井台 沼辺	管理者	小谷 望夢		

出席者	市町村職員	知見を有する もの	地域住民・地域 団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	1人	2 人	1人	人	2人	人	4人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	改善計画について職員に共有し、職種や役職に関係なく全体で問題点の解決を図る。	職員への周知が不十分であったため効果が薄い点も見られたが、活発に意見を出し合いケアの改善や職場環境の改善を図ることが出来た。	・引き続きよろしくをお願いします。	ケア内容だけでなく職場環境等に積極的に意見を出すことのできる風土を目指す。
B. 事業所のしつらえ・環境	古くなった家具や設備の更新といった環境整備を進め事業所の過ごしやすさと安全性を高める。	新たな家具の購入や施設設備の改修工事、修繕工事を行ったが予算等の兼ね合いもあり優先度を設けての実施となった。	・玄関のレイアウトが変わっていたり、家具が変わっていたりしているので改善に取り組まれていると思います。 ・ゴミ置き場が目立つため印象としては少し良くないところがある。	修繕を進め居心地よい空間を作り上げると共に、掲示物等で事業所に立ち寄りやすい空気を作り出す。
C. 事業所と地域のかかわり	オレンジカフェの開催数増加と地域交流のためイベントを設ける・参加することで開かれた事業所となるようにする。	前年度よりもオレンジカフェの開催数を増やすことはできたものの、地域住民の参加数が少なく、寄りやすい施設とは言えない状態。	・イベントの案内や写真などで交流イベントを知ります。お忙しい中色々やってらっしゃると思います。	オレンジカフェの定期開催と近隣住民の参加により気軽に立ち寄り相談のできる施設にするとともに地域住民へ認知症の理解を深めてもらう。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者様の自宅近辺や近隣との関りについて改めて確認しケアの内容に盛り込む。外出レクの企画。	一部の利用者様では知人等を支援に巻き込むことが出来た。地域の消防訓練や関のぼろ市といった外出企画・地域交流を行うことができたが頻度は少なかった。	・住んでいるところが事業所と離れているので申し訳ありませんがよくわかりません。	地域の行事等に利用者様をお連れすることで事業所外で過ごす時間を増やす。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議を対面と Zoom の両方で開催し多様な意見を事業所運営に反映させる。参加率向上のため何かしらの施策をとる。	対面形式と Zoom 形式両方で開催した他に家族会含めての開催を行うことができたが、参加者は限られており参加率向上の取組も昼食会のみであった。	・運営推進会議に参加したことがないのでわからない。 ・不慣れな人も多いと思うので Zoom の起動方法について案内が必要なのではないでしょうか。	運営推進会議では事業所の報告事項だけでなく、地域の困りごとに対して優っとり村で出来ることについて相談・提案を行う。

F. 事業所の 防災・災害対策	防火・防災に備えた訓練の実施を少しでも多くの職員に行うと共に、非常時用の備蓄について整備を見直していく。	・非常用電源の導入や食料を始めとした備蓄品の購入を進め、期限切れのものは破棄している。訓練を行っているが参加職員に限られがちのため継続が必要。	・事業所の防災についてよくわからない。	引き続き職員が災害時に適切な対応をとることが出来るよう訓練等を行うと共に、地域の方々の支援も出来るよう備蓄品に余裕を持たせる。
----------------------------	---	--	----------------------------	--

